

LIBRARY NEWS 北陵

2023年5月 図書館だより 第1号



◆ 2023 年第1号発行のあいさつ

皆様こんにちは、総務部・図書係の藤原です。1学期中間考査も近いですが、新年度始めの学校生活にもだいぶん慣れましたか。

政府の新型コロナウイルス感染症対策も徐々に緩和され、今年のゴールデンウィークは多くの人出が予想されています。しかし、学業に部活に忙しい高校生の君たちには、旅行に行けない人もかなりいると思います。でもご安心あれ。紀行文を読んで著者の旅を体験しましょう。そこで私からおすすめの本が『地理学者発見と出会いを求めて世界に行く！』水野一晴著（ちくま文庫）です。NHKの人気番組『ブラタモリ』にも登場した水野教授が、キリマンジャロに登山し、エチオピアの山村で一宿一飯の恩に与り、ペルーの悪徳警官に騙される。いつの間にか、あなたも世界のどこかを旅している気持ちになります。そして旅に出たくなります。ぜひ読んでみてください。

◆ 2023 年度前期図書委員長 3年4組 北添優太君

令和5年度前期図書委員長を務めさせて頂くことになりました、北添優太です。普段は本を読まない人も、学校では少し読む機会があるのではないのでしょうか？また、今年受験を控えた三年生やテスト勉強をしたい1, 2年の生徒の方々もいると思います。

そんな生徒の皆さんはぜひ図書室へお越し下さい。座席数は非常に多く、夏、冬はエアコンを付けて原則昼休みと放課後5時まで開館しています。

最後に、先日行ったアンケートを元に本を新しく入荷する予定なので、入荷図書のコーナーもチェックしてみてください。

◆ 2023 年度前期図書副委員長 2年1組 岡部風香さん

前期副委員長になりました、岡部風香です。突然ですが皆さん、自分が最近いつ読書をしたか覚えていますか？最近あまり読んでないなあ、、、という人が大半なのではないでしょうか。

勉強や部活に追われて、本を読む時間がないという人。勉強前の5~10分ほどを読書にあててみませんか？読書は、読解力を引き上げてくれるだけでなく、集中力をあげるといふ効果があるとも言われています。勉強前に本を読めば、普段よりも勉強が捗るかもしれません。

そして、疲れている時ほど本を読んでみてください。とある研究では、コーヒーを飲んだり、散歩をするよりもストレスを解消できるという結果もでていそうす。ぼーっと文字を流し読んでいると、自然と心が落ち着きます。

「本を読む」という行為は、時に気持ちを昂ぶらせ、時に落ち着きを与えてくれま

す。こんなに身近にあって、私たちの生活に多くのメリットを与えてくれる本たちを手にとってみませんか？ぜひ図書室に立ち寄ってみてください。

雑誌の紹介 図書室で読める雑誌三種類

♠『Number』(文藝春秋)



プロ野球、MLB、サッカーから、モータースポーツ、格闘技、競馬にいたるまでのあらゆるスポーツの魅力を芸術的ともいえる写真でお伝えします。スポーツ総合誌だからといって表面的な内容に終始することなく、特集記事、インタビュー記事や対談記事など記事ごとのボリューム・読み応えも抜群。プレーヤーからスポーツ観戦が大好きな方、初心者への入り口としても楽しめる内容。スポーツという舞台の上で繰り広げられる戦い、そこで流れる汗と涙、そこで生まれ後世まで引き継がれる伝説の数々。ページをめくるごとに、常に勝負に挑み続けるヒーローたちに出会えるスポーツ総合雑誌。

♠『Newton』(ニュートンプレス)



科学雑誌 Newton (ニュートン) は 1981 年の創刊以来、多くの方々に御愛読いただいております。ページ全面に展開するスーパーイラストレーションや美しくダイナミックな写真の数々、そして第一線の研究者に取材した正確でわかりやすいレポートが Newton (ニュートン) の特長です。Newton (ニュートン) は国際的にも高い評価を得ており、台湾版、韓国版、イタリア版、スペイン版、中国版も刊行されています。IT 革命によって、私たちの周辺のメディアは驚くべきスピードでデジタル化しはじめています。ニュートンプレスでは Newton (ニュートン) の編集を通じて蓄積された膨大な情報をデータベース化し、ネットワークや多様なデジタルメディアを通じて発信していきます。

♠『ダ・ヴィンチ』(KADOKAWA)



話題の新刊から過去の名作まで紹介する“本の情報誌”です。本とコミックを原作に持つ映画・ドラマ・アニメなど、幅広いジャンルのコンテンツを網羅する特集記事を毎月掲載。作家・監督・俳優・声優——多彩な表現者の言葉から、「物語」の魅力を伝えます。最新のエンタメに敏感に反応する人たちが、読者の中心です。

《編集後記》・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

図書室の蔵書は、バーコードで簡単に貸出・返却できるようになっています。貸出・返却に「図書帯出カード」は必要ありません、ぜひ図書室に来室ください。(藤原茂洋)